

茨城県肉用牛振興協が共進会

橋本畜産が名誉賞

肉の牛善が5005円で購買



「消費者に喜ばれる常陸牛のために努力する」と斎藤代表理事会長

茨城県肉用牛振興協会 級またはB等級かつ肉質主催の第66回茨城県肉用牛共進会が昨年12月1日、茨城県中央食肉公社で開かれ、黒毛和種去勢牛99頭、雌牛16頭の計115頭が出品された。平均月齢は去勢牛30・3カ月、雌牛29・7カ月。主な産地は茨城県が46頭、次いで北海道23頭、栃木県13頭で、出品牛すべて常陸牛だった。

常陸牛は「指定生産者が茨城県内で最も長く飼育した黒毛和牛のうち、日本食肉格付協会の枝肉取引規格が歩留まりA等



名誉賞の橋本畜産・筑西農場

が茨城県内で最も長く飼育した黒毛和牛のうち、日本食肉格付協会の枝肉取引規格が歩留まりA等

らも高く評価された。また最優秀賞には栗島喜好さんの出品牛が選出され、関東農政局長を受賞し、(株)トキワフーズが、キロあたり3298円で購買した。

去勢牛の枝肉測定平均値は、枝肉重量570・2キ、ロースしん面積80・9平方キ、バラの厚さ9・5キ、皮下脂肪の厚さ2・4キ、BMS No.9・9、雌牛は501・6

肉牛関係においても飼料価格をはじめとして、牛肉消費の低迷が大きな不安材料となっている。そのような中、生産者も日々努力を重ね、高品質な常陸牛生産に取り組んでいる。経営の安定には、厳しさを感しているのも事実。この難局を乗り越えるべく、肉用牛の厳しい現状を、理解したくとも、さうい

「肉牛関係においても飼料価格をはじめとして、牛肉消費の低迷が大きな不安材料となっている。そのような中、生産者も日々努力を重ね、高品質な常陸牛生産に取り組んでいる。経営の安定には、厳しさを感しているのも事実。この難局を乗り越えるべく、肉用牛の厳しい現状を、理解したくとも、さうい

功代表理事会長が「昨今の経済情勢をみると、ロシアのウクライナ侵攻などで世界的に不安定な状況となり、新型コロナウイルスの広がりをはじめ、急激な円安となっている」

「肉牛関係においても飼料価格をはじめとして、牛肉消費の低迷が大きな不安材料となっている。そのような中、生産者も日々努力を重ね、高品質な常陸牛生産に取り組んでいる。経営の安定には、厳しさを感しているのも事実。この難局を乗り越えるべく、肉用牛の厳しい現状を、理解したくとも、さうい



「常陸牛は2年連続で1万頭の大台を達成し、東京食肉市場まつり2022においても推奨銘柄牛として大きな注目を集めた。カナダで常陸牛の

「常陸牛は2年連続で1万頭の大台を達成し、東京食肉市場まつり2022においても推奨銘柄牛として大きな注目を集めた。カナダで常陸牛の

「キメ細かいサシが入った、バラの厚さ9・3キ、BMS No.12というロースしん面積94平方キ、バラの厚さ10・4キ、BMS No.12という成績で、そのほか「肥育経営において血統は重要な要素の一つ。肉用牛研究所で、近年にない高値で落札された

「キメ細かいサシが入った、バラの厚さ9・3キ、BMS No.12というロースしん面積94平方キ、バラの厚さ10・4キ、BMS No.12という成績で、そのほか「肥育経営において血統は重要な要素の一つ。肉用牛研究所で、近年にない高値で落札された

「キメ細かいサシが入った、バラの厚さ9・3キ、BMS No.12というロースしん面積94平方キ、バラの厚さ10・4キ、BMS No.12という成績で、そのほか「肥育経営において血統は重要な要素の一つ。肉用牛研究所で、近年にない高値で落札された

「キメ細かいサシが入った、バラの厚さ9・3キ、BMS No.12というロースしん面積94平方キ、バラの厚さ10・4キ、BMS No.12という成績で、そのほか「肥育経営において血統は重要な要素の一つ。肉用牛研究所で、近年にない高値で落札された



「夢美閣」など種雑牛としてデビューを控えた、ぜひ県有種雑牛を皆様の経営に役立ててほしい」と補足。結びに

「夢美閣」など種雑牛としてデビューを控えた、ぜひ県有種雑牛を皆様の経営に役立ててほしい」と補足。結びに

「夢美閣」など種雑牛としてデビューを控えた、ぜひ県有種雑牛を皆様の経営に役立ててほしい」と補足。結びに

「夢美閣」など種雑牛としてデビューを控えた、ぜひ県有種雑牛を皆様の経営に役立ててほしい」と補足。結びに

